



赤磐

平成28年3月議会

第44号

市議会だより



平成28年度当初予算	2P
3月議会のあらまし	3P
委員会のうごき	7P
12人の議員が一般質問	11P
議会報告会を開催しました	18P
百条委員会についての議長総括	20P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

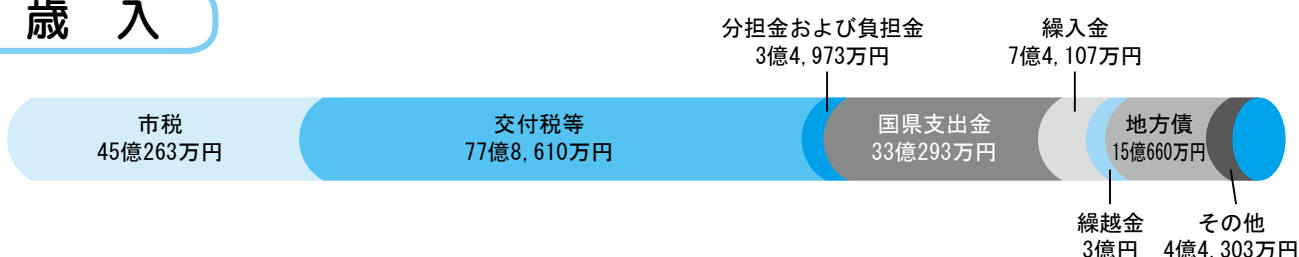
平成28年度は経常経費の削減と重点政策への優先予算

一般会計当初予算189億3,209万円（対前年：7億3,649万円）

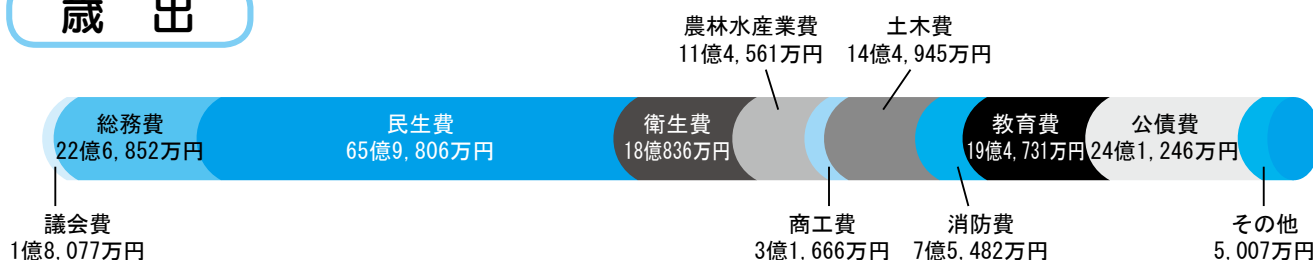
平成28年度予算は、総合戦略に沿って、今やるべき事業を実施し、将来像の実現に向けて、確実に前進させることに重点をおいた予算編成となっている。

重点事業として「安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る」「経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る」「多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る」の3項目を位置づけており、地方創生を確実に進めるとともに、市民のニーズに対応した行政サービスを安定的に提供していくため、持続可能な財政運営を目指す。

歳入



歳出



会計別予算規模

会 計 名	28年度	27年度	増 減	増減率
一 般 会 計	189億3,209万円	181億9,560万円	7億3,649万円	4.0%
特 別 会 計	139億5,977万円	134億1,941万円	5億4,036万円	4.0%
国 民 健 康 保 険	67億8,866万円	63億7,050万円	4億1,816万円	6.6%
後 期 高 齢 者 医 療	5億6,866万円	4億9,958万円	6,908万円	13.8%
介 護 保 険	43億1,830万円	42億3,745万円	8,085万円	1.9%
訪問看護ステーション事業	3,228万円	4,850万円	△1,622万円	△33.4%
簡 易 水 道	2億3,155万円	2億2,132万円	1,023万円	4.6%
下 水 道 事 業	19億2,231万円	20億683万円	△8,452万円	△4.2%
宅 地 等 開 発 事 業	7,519万円	1,150万円	6,369万円	553.8%
竜天オートキャンプ場	1,400万円	1,433万円	△33万円	△2.3%
財 産 区	884万円	942万円	△58万円	△6.2%
公 営 企 業 会 計	10億8,619万円	12億5,729万円	△1億7,110万円	△13.6%
水 道 事 業	10億8,619万円	12億5,729万円	△1億7,110万円	△13.6%
合 計	339億7,805万円	328億7,230万円	11億575万円	3.4%

3月定例会のあらまし

議案審議

3月定例会を2月25日から3月18日まで、22日間の会期で開催した。議案40件を可決、修正案1件を可決、議員発議の意見書1件、決議1件を可決した。
また、人事案件2件を同意・適任とした。

過疎地域自立促進市町村計画

問 公共施設等総合管理計画との整合性について。

答 公共施設等の老朽化、人口構成の変化、財政状況、公共施設の余剰、防災、利用者負担、マネジメントの必要性などが課題である。

問 医療の確保として佐伯北診療所の改修は、固定化になるのではないか。

答 当分の間診療の継続のための改修であり、固定化するものではない。

乳幼児等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例

問 事業の財源はどこから拠出するのか。

答 県費、過疎対策事業債を特定財源とする。一般財源は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「子育てするならあかいわ市」で予算化した。

27年度一般会計補正予算

問 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業「1人3万円」について説明を。

答 対象者は市民税の非課税者で、28年度中に65才以上となる者。ただし、課税者の被扶養者、生活保護受給者は除く。

問 臨時福祉給付金を滞

納金へ充当できるのか。

答 給付金の趣旨から強制的に滞納金へとはならないと思う。

問 ゴミ焼却場の周辺環境調査はいつまでするか。

答 地元との協定では5年間行い、それ以降は協議による。

一般会計

28年度予算

問 ごみの最終処分場の見通しは。

答 最重要の課題で、関係地区住民への説明会や意見を聞く会などをしてきたが、理解は得られていない。引き続き粘り強く対応していく。

問 市民活動実践モデル事業の説明を。

答 協働のまちづくりアクションに創設した新規事業。市民活動団体などから地域の課題の解決につながる事業提案を募集し、補助金交付するもの。審査の結果一団体20万円

を5件予定している。

問 あかまつ荘、つつじ作業所の建設工事費の内訳の説明を。

答 あかまつ荘は老人福祉法に定めるデイサービスセンターで、介護保険法の通所介護サービスを提供する。施設の老朽化と、利用者の利便性向上のために改修する。

つつじ作業所は障害者総合支援法による地域活動支援センター事業を行う作業所で、屋根、防火壁などの修繕工事により、安全性を確保する。

問 放課後児童クラブの補助金について。

答 昨年度施行した子ども・子育て新制度により補助金単価や、各種加算の増加により増額している。

問 結婚推進協議会助成金についての説明を。

答 過去3年間の実績は、カップリングパーティーの参加者121人、カップルの成立は20組。26年度は3回の開催で130人参加、16組が成立。今年度は3回のカップリングパーティーの開催、約120人の参加を見込んでいる。

問 中山間地域等直接支払交付金の説明を。

答 生産条件の悪い地域の集落単位で農地の保全、管理を5年間行う協定を交わす。28年度は赤坂地域15地区、熊山地域3地区、吉井地域26地区である。

問 新規就農総合支援事業の補助金についての説明を。

答 新規就農者の確保と定住を図るため、就農者に年間150万円、最長で5年間補助金を交付するものである。今現在の交付対象者は6人。28年度は新規が10人の予定。

問 子ども医療費についての説明を。

答 28年度から高校生等の医療費を1割負担に軽減した。高校生等の定義は18才の誕生日以後最初の3月31日までの者で高校生でなくても対象となる。保護者の経済的負担の軽減を目的とした事業であり、経済的に独立している場合は対象外である。

問 地域子育て支援事業についての説明を。

答 子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や地域の子育て情報の提供、悩み相談の場の提供を目的としている。市内5つの支援センターを設置している。

問 和気赤磔し尿処理施設一部事務組合負担金の事業説明を。

答 当初予算は2億1862万4000円で、し尿処理施設の経常費、し尿処理費用として1億127万4000円、施設建設費用の償還分4838万9000円、浄化槽利用者の汚泥処理分5500万円、併設の公園施設分の維持管理経費391万1000円を計上している。また、利用割は、92.5%が赤磔市で、経費は人件費等4633万7000円、委託料等1億7499万9000円、公債費1億1432万9000円となっている。

問 総務費の弁護士料の内訳の説明を。

答 奥田弁護士92万5715円と小林弁護士64万8000円である。

問 空き家改修補助金300万円の内訳と目標戸数、地域おこし協力隊員5人の任務について尋ねる。

答 一定の改修工事に対して100万円を上限とし、3件を予定している。地域おこし協力隊は、是里・小野田・仁美地域の活性化を進めてもらう人が3人、市内全域の移住促進のための移住コンシェルジュ(仮称)1人、空き家の利活用と活性化を推進してもらう隊員1人を予定している。

問 防災マップ作成委託料と自主防災組織活動支援事業補助金の使用目的を尋ねる。

答 防災マップ委託料は、地域住民参加のワークショップを開催し、その企画運営からでき上がったマップを地域全戸に配布するための委託料で、NPO法人まちづくりに推進機構岡山を予定している。

問 自主防災組織活動支援事業補助金は、組織の結成を促進し、地域防災力の向上ならびに災害による被害防止および軽減を図ることを目的としている。

問 教育費の生徒指導総合実践事業で、スクールソーシャルワーカーの単

答 市での配置は検討しないのか。

答 27年度は赤磔市と和気町に6人の人が県の予算で配置されており、学校と家庭をつなぐ支援を続けてもらっている。単市での配置については、人材の確保など大変厳しい状況であるが、この制度は有効であり必要であると考えている。

問 公立保育園再編事業について、工事の完了予定時期と運営計画は。

答 用地の造成工事を8月までの工期で実施しており、その後園舎の建築工事に入り、来年4月の開園を目指している。運営内容は、乳児保育、一時預かり保育、延長保育、さらに病児保育等を実施し、安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創るという重点戦略を推進していく。

問 協働のまちづくり推進事業について、アクションプログラムに基づき事業を実施するとあるがどんな事業なのか。

答 アクションプログラ

国民健康保険特別会計

ムは、協働のまちづくり指針を具体的かつ計画的に実施するための行動計画として定めたもので、市民活動団体などと市が協働で地域課題の解決に向けた事業を実施するもので、5事業を採択する予定である。

問 本予算は経常比率90%以下になるように組んだのか。

答 財政健全化アクションプランについては、28年度決算において経常収支比率90%以下、これが大目標で強く意識した予算編成としている。

問 学校給食地場食材料用拡大事業について詳しく説明を。

答 推進協議会を立ち上げ、講演会、視察研修、生産現場のほ場、学校給食調理場の見学などを行い、相互理解を深めている。また、調査項目として、給食で使用する食材、直売所で取り扱っている食材のデータの集計を行っている。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 収入が約700万円に対し、一般会計の繰入金、いわゆる赤字が2400万円と3倍以上になっているが、今後この血税を出し続けるのか。

答 運営に当たっては、

公的機関の責務を担うことが肝要と考えている。民間が対象としにくい非効率な中山間部を積極的に訪問しており、今後もこの方針を踏襲するが、赤字についての厳しい批判は十分認識しており、赤字の縮小に全力で努める。

下水道事業 特別会計

問 予算書の中に、赤坂地域の今後の計画は記載されるべきだと思うが。

答 説明資料内の山陽、桜が丘東、熊山、吉井の呼称は浄化センターを設置している処理区を示しており、その処理区ごとに事業内容を記載しており、赤坂地域は山陽処理区に含まれている。赤坂地域の実施年度になったから記載する。今後赤坂地域への下水道について積極的にできるよう精一杯の努力をする。

人事案件

次のとおり同意・適任とした。

教育委員会委員

平松 由香（仁堀東）

【任期】

平成28年5月20日～
平成32年5月19日

人権擁護委員

政田 町子（西軽部）

【任期】

平成28年7月1日～
平成31年6月30日

反対討論

議第6号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院勧告に従って市職員給与を上げること、は、市の実情にあつていないので反対する。

議第30号 平成28年度一般会計予算（4人）

・百条委員会に対してガードを固めるとか、市営住宅の家賃滞納者に対する訴訟のためなど、弁護士を何人も雇うことはおかしい。

・防災士の養成講座を開催しているが大事な自主防災組織の設立に十分結びついていない。

・今後子どもが減っていく中で学校をどう活性化するかという議論がなく、過疎債を使えるようになったという財源の確保だけで吉井中のプールを作るのはおかしい。

・財政調整基金を切り崩すが、将来の努力で賄っていくというような不確かなフレームを認めるわけにはいかない。市民生活を考えたらもっとしっかりとした予算を組むべきである。

議第31号 平成28年度国民健康保険特別会計予算（2人）

・繰入金を増やし、国保税の値下げを行うべきである。市独自の減免制度を作り、法定減免より少し上の人を救うべきである。

・医療消耗品の状況を聞いたが、明確な回答がない。もっと的確な、もっと堅実な病院運営をする必要がある。苦言を呈する意味で、熊山診療所の事業勘定について反対する。

※国保には、事業勘定のほかに熊山診療施設勘定と佐伯北・是里診療施設勘定があります。

議第32号 平成28年度後期高齢者医療特別会計予算

岡山県後期高齢者医療費の引き上げが広域連合で今年度決まった。保険制度に甘んじずに、国がもっと負担を増やすべき。抗議の意味で反対する。

議第34号 平成28年度訪問看護ステーション事業特別会計予算

前年度予算承認時の議会で執行部はケアマネジャーへの営業を積極的に行うと約束したが、実行されておらず、28年度も前年度より赤字が増えている。議員の責任において本予算は承認できない。

議第36号 平成28年度下水道事業特別会計予算

友實市長が選挙に出るときの大きな目玉政策の一つが赤坂地域の早期の下水道整備だった。友實市政4年目の当初予算に赤坂地域の下水道整備計画がない。赤坂地域の住民として認められない。

発議

発議第1号 火葬場事業についての意見書【採択】

【要旨】

一つ、市民の火葬に当たり負担の公平を図るため、火葬場使用料金の負担を統一する。一つ、改修時期を迎えた一部事務組合の施設建設については参加しない方向で検討する。一つ、市民負担の少ない火葬場施設の建設の妥当性を検討すること。以上意見書を赤磐市長宛に提出する。

【反対討論】

・意見書に対して9人の議員が賛同して賛成者になっている。ということは議会に諮る必要がない。そして

ういうやり方はおかしい。

・一議員が和氣の町長とつながって友實市長に働きかけてしようとしている。それを防ぐのがこの意見書であると聞いている。そのような意見書には、賛成できない。

・一議員が言ったら反対しなくてはならないという考えで意見書が提出されている。そういう疑心暗鬼になるような意見書には反対する。

発議第3号 映画製作に係る製作協力に関する調査特別委員会の廃止を求める決議

【要旨】

特別委員会の一連調査を通じ、協賛金が目標額に達しなかった際の懸念は払拭されたものと考ええる。また、協賛金の依頼等についても、強制的に寄付を割り当てたという事実は確認されず、適正であると判断される。これ以上の調査を続けることは無用の混乱を招くことになりかねないので、特別委員会の廃止を求める。

【反対討論】

(3人)

・本映画は、全て他人の力で金の力で赤磐に良いものをと願った市長の他力本願の招いた災いだと思う。議会は事前に十分な審議を行えなかった。ゆえに調査を中止すべきという動議に反対する。

・特別委員会の正副委員長がまだ調査しなければいけない事柄が残っていると言っている。法律顧問の弁護士も同じ所見であり、その中で動議に反対する。

・特別委員会が設置されているにもかかわらず特別委員会を飛び越えて本会議で特別委員会の解散の採決をとるという今回の実績は、赤磐市議会が今後進む上で大きな禍根を残すことになる。

【賛成討論】

副議長が今回このような立場の中で発議者になり、収束しようとしたことに敬意を表したい。当委員会の皆様方にお世話になったことのお礼を含め、今後の赤磐市議会発展のために頑張ろうということを皆様にお伝えして賛成討論とする。

動議

議第30号 平成28年度一般会計予算修正

【採択】

【要旨】

中学校のプールは高額な修繕費は使わず、近隣のプールを使うと初代荒嶋市長当時に決めている。プールの使用時間は10時間程度で、特に女子生徒の使用は少ない。今後の税収は一段と厳しくなる。限られた予算では、我慢してもらわなくてはならないこともある。同じ費用を使うなら、より充実した教育環境になるために使うべき。吉井中プールの予算を削減する。

【反対討論】

念願のプールが10年越しに6万円で改修できるところになり、子ども達も喜んでいると思う。過疎債も使えるので本修正案を否決してほしい。

【賛成討論】

前の執行部も市内すべての中学のプールを考えて吉井中のプールの改修をしないと決めていた。それを変更するには吉井中以外のプールの施策も考えて決定すべきであり、説明が不十分である。

平成28年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	小田百合子	実盛祥五	金谷文則
議 第 6 号	赤磐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第5号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号 (修 正 案)	平成28年度赤磐市一般会計予算についての修正案	可決	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●
議第30号 (原案部分)	平成28年度赤磐市一般会計予算についての修正部分を除く原案	可決	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議第31号	平成28年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	平成28年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	平成28年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	平成28年度赤磐市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	映画製作に係る製作協力に関する調査特別委員会の廃止を求める決議	可決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	赤磐市の火葬場事業についての意見書	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○＝賛成 ●＝不賛成

※金谷文則議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

文教常任委員会

3月9日に総務文教常任委員会を行った。
議案9件について審査した。

過疎地域自立 促進市町村計 画について

問 吉井地域は地域格差があることを国が認めているのだから、格差をなくするような説明をしてほしい。どういう見解を持っているのか。

答 格差を少しでも是正するために各種の事業を考え、計画にあげて確実な実施を目指す。それがこの計画そのものだと考えている。

問 パブリックコメントのやり方についてどのようになっているか。吉井地域に関係することなので、区長にパブリックコメントを求めてほしいが。

答 テーマによって意見の出る数は大きく差がある。

る。意見がもらえるような工夫を考えなければならぬと思う。市民にこういった意見を募集しているというPRも考えていきたい。この計画は特に関わりあいの深い吉井地域の区長に知らせするのは有効な手法だと思う。今後視野に入れないが考えていこうと思う。

市職員の給与 に関する条例 の一部改正

問 国が合わせている基準は一流企業の平均月収で、市の実情に合っていない人たちの層に市の職員を合わせるのか。どういう独自の判断をしているのか。

答 県の人事委員会による調査の結果を受けて、

27年度 一般会計 補正予算

市の実情と整合している。国の人事院勧告を市においても実施するという判断である。

問 住民情報システム運営管理事業で、通知カードは全部送られたのか。個人番号カードはどのくらい交付されているのか。

答 通知カードは返送されたものが1139件で、通知して771件取りに来た。現在250件が未交付で、3月に再通知をする。個人番号カードの交付状況は、2月から交付を開始し、178

5件中交付しているのは221件である。

28年度 一般会計予算

問 シティプロモーション事業で、あかいわモモちゃんを使って本市をPRするのに、グッズを作るとあるが、どのようなものを作る考えで、予算はいくらか。

答 ポケットティッシュ、クリアホルダー、ぬいぐるみ、マグカップなどで、予算は200万円を予定している。

問 移住定住促進事業で、市外からの移住の促

進と定住を推進するため、おためし住宅の整備とあるが入居期間はどれくらいか。

答 1週間から1カ月のスパンで住んでもらい、市の良さを肌で感じて不安を払拭してもらいたい。

問 あかいわに返ろうプロジェクトの就職説明会は市内で行われるのか。市内企業出展費用助成の金額の目安は。

答 県外で行われる就職説明会に市内の企業が出展した場合に経費の一部を補助するもので、30万円見当で2分の1の補助で15万円である。

問 吉井中プール整備工事設計監理委託料2559万円の委託料の内訳と施工費の説明を。

答 既存プールの解体設計・施工監理費が264万円、29年度施工の新築設計費用が2295万円。既存プールの解体工事費は1320万円を計上している。



「あかいわモモちゃん」LINE スタンプ



吉井中学校のプール

29年度の施工費は、近隣の参考で1億4000万円程度と見込んでいる。
問 10年間、市は新設のプールは建設しないと断っていた。教育長が断った理由は、事業ができるのか。そんな権限が教育長にあるのか。
答 平成19年8月の文教常任委員会で、学校教育活動に支障がないことが前提で今後の方針を出していた。支障があり前提が崩れたので市長と協議した。財源が課題だったが、見通しがたったので吉井中の子どものために予算を提出した。

**厚生
常任委員会**

3月10日に厚生常任委員会を行った。
議案17件について審査した。

乳幼児等医療費給付条例

問 18歳以下でも婚姻しているものは給付を除くとあるが収入のある人はどうか。

答 被扶養者であるかどうか保険証で確認する。この制度は対象者の把握が難しいので、保護者に



あかまつ荘の写真

償還払いで支給するものである。

地域密着型サービス事業の基準を定める条例

問 主だった改正のポイントはどのようなものか。

答 通所介護サービスの基準が新たに加わり、市内にある26カ所の施設の

27年度
一般会計
補正予算

ことである。

問 市内施設の内訳はどのようになっていたのか。

答 山陽15カ所、赤坂4カ所、熊山4カ所、吉井3カ所である。

問 市内施設の内訳はどうなっているのか。

答 山陽15カ所、赤坂4カ所、熊山4カ所、吉井3カ所である。

28年度予算
一般会計

問 年金生活者等臨時福祉給付金について、給付対象者の基準は何か。

答 27年度の市民税が非課税の人で、扶養されている人は除くとある。

問 年金生活者等臨時福祉給付金について、給付

答 27年度の市民税が非課税の人で、扶養されている人は除くとある。

社会福祉費

問 吉井の塩木地区が福祉拠点になるのか。

吉井町時代に医療、



塩木地区福祉ゾーン図形

1件当たり33
6円の負担で、
その他は250
円である。

児童福祉費

問 保育士の待遇改善をどのようにするのか。

答 「子育てするならあかいわ市」と考え措置をしている。

問 臨時保育士の平均の給与は

○

額8370円、月
位である。

均より2万円位低
の程度改善するの

答 財政負担を伴うが、今回の予算計上により、19万3000円位になる。

国民健康保険
特別会計

熊山診療施設

問 経費節減のため材料検討委員会などが設置できないか。

答 コスト削減を検討して対応する。

佐伯北・是里
診療施設

問 佐伯北診療所整備事業は、いつやるのか。

答 28年度中の都合のいい時期に実施する。

介護保険
特別会計

問 今後、年金だけの人が増えてくると思うが、保険料の滞納の状況はどうか。

答 昨年の決算では545人、1650万円の滞納額であり、理解を求めていく。

訪問看護ステーション事業特別会計

か。問 赤字経営をどう思う

答 営業努力が十分ではないと思っている。今後、積極的に営業努力をする。

産業建設 常任委員会

3月18日に産業建設常任委員会を行った。
議案18件について審査した。

市道路線の認定

問 岩田長尾線の目的が分かるよう説明を。

答 下市中心部の渋滞緩和と、河本地内の土地区画整理事業や宅地開発を行い、急激な変化に対応する。

市道路線の変更

問 津崎中支線の幅員は変更する予定はないという説明だが、すれ違うためにもう少しゆとりがあった方がいいと思うがどうか。

答 今回延ばす路線については津崎の集落が東側にあり、一部農道部分を含む。広い道路にすることにより集落内へ他の地区からの侵入も考えられ、地元との協議で決定

27年度 一般会計 補正予算

した。

問 農業振興費の人・農地プラン推進支援事業の中で新規就農総合支援事業の補助金が1500万円減となっているがなぜか。

答 新規就農した人に国から年間最大150万円が給付される制度がある。当初20人を予定していたが対象が10人になった。

たので10人分減額するものである。

問 ハザードマップの作成委託料が100万円減となっている。ため池のハザードマップと市のハザードマップとの整合をどういう形で活かしているのか。

答 今回県では土砂法の見直しが完了する予定である。これが終わるとハザードマップの修正も必要になってくるので、ため池との整合を図ってきたい。

問 商工費の観光振興事



ハザードマップ

業補助金184万4000円減額になっているがなぜか。

答 花火大会の会場設営整備費の減により減額になっている。

問 土木費の新設改良費の減額の理由と場所はどこか。

答 工事費の主なものとしては津崎中線の改良工事であり、県営事業を先に施工した方が、後戻り等がないということで減額している。

問 イノシシ等防護柵設置補助金について詳しい説明を。

答 地域から事業の要望を出してもらい、補助金を交付している。26年度から途中の要望にも応えるよう取り組んでいるので26年度の申請が多くなり27年度は減少したため補助金を減額した。

28年度 一般会計予算

問 新規就農総合支援事業補助金の内容の説明を。就農の時期が45歳未

満で独立・自営就農であること。5年後の経営の計画が立てられていること。生活保護等、国の支援事業と重複しないことが条件である。

問 松くい虫特別

答 工事業の主なものとしては津崎中線の改良工事であり、県営事業を先に施工した方が、後戻り等がないということ減額している。

問 イノシシ等防護柵設置補助金について詳しい説明を。

答 地域から事業の要望を出してもらい、補助金を交付している。26年度から途中の要望にも応えるよう取り組んでいるので26年度の申請が多くなり27年度は減少したため補助金を減額した。

問 広域農道整備事業負担金4000万円の内容説明を。

答 県営事業であり事業費の10%を市で払う。4



空中散布

億円の10%で4000万円を計上している。

問 土木費の弁護士委託料100万円について、市顧問弁護士が2人いるが、同時に別途で雇って対応するのか。

答 住宅使用料についての滞納分がたくさんある中で法的措置の手続きの相談をするための委託料である。

問 土木費の耐震事業補助金の240万の内訳を。

答 耐震診断は20件、耐震改修は4件予定している。27年度の実績は診断が12件改修が2件である。予算を組んだ件数が全て申請してもらえないように啓発する。

映画製作に係る
製作協力に関する
調査特別委員会

映画製作に係る製作協力に関する調査特別
委員会の中間報告

映画製作に係る製作協力に関する調査特別委員会についてご報告いたします。

本特別委員会は地方自治法第100条を根拠に設置された地方自治体の行政を調査する特別委員会です。

今回設置された調査特別委員会は平成28年3月14日までの時点で10回開かれており、赤磐市の行政について以下の点を調査事項として調査しています。

- (1) 赤磐市、株式会社エネット及び株式会社松竹撮影所間の平成26年6月2日付の「協定書」の締結経緯

- (2) 赤磐市、株式会社

エネット及び株式会社松竹撮影所間の平成26年6月2日付の「映画製作に係る製作協力に関する覚書」の締結経緯

(3) 映画製作のための協賛会社の募集、協賛金の収集及び管理の現状

(4) 協賛金の収集及び管理を行っている本市職員と協賛会社、本市の指名業者が含まれていることの有無、有とすればその数、会社名、協賛金の額等

(5) その他、本市の映画の管理監督者並びにその責任に関する事項

以上の5項目を調査するという議員発議があり、9月定例会最終日に本会議において、賛成10人、反対6人により決議・可決されて設置されました。その時点で、第1回の委員会を開き、正・副委員長との互選をし、委員長に小田百合子議員、副委員長に佐々木雄司議員と決定した。

11月9日、第2回目は今後の委員会調査の進め方について協議。

11月26日、第3回目には平成28年度の予算要求について。市長への調査項目について。執行部への資料請求について協議。

12月4日、第4回目は友實市長に参考人として

での出席を求めています。たが欠席のため、質問項目の検討と資料の請求について協議。

12月22日、第5回目には友實市長が参考人として出席。前もって出していた質問項目についての説明を聞いた後、委員からの質問に答えた。

平成28年1月25日、第2回目には副市長、総合政策部長、総合政策部参事2人、元総合政策部長の合計5人を証人喚問した。

2月8日、第3回目にはエネット、執行部への資料請求、次の証人喚問について協議。

2月23日、第4回目に

は副市長、総合政策部長、元総合政策部長の3人を証人として再喚問した。

3月14日、第5回目にはエネットからの回答書について協議。そのあと、委員より調査もほぼ終わっているから、本日結論を出すべきと委員会最終の採決を求める意見と、証言の精査や裏付けが取れていないなどの意見が出されたが、委員長判断で最終の採決は見送られた。

これまでの特別委員会調査の経緯は、以上であります。今後は4月に取りまとめの調整をした上、最終報告書でお知らせする予定となっております。

一 般 質 問

市の考えを問う

12人の議員が登壇し市の考えをたしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問

熊山駅前周辺整備は
着手するのか

答

玄関口として
ふさわしい整備を行う



行本恭庸議員

問 平成21年3月にでき

た熊山駅前周辺整備計画は、何ひとつ着手されていない。整備計画について3点の質問を行う。

第1点目は、現在ある計画区域を千駄全地域を対象とした計画とする変更の考えがあるのか尋ねる。

答 地域の人々と密なる協議、要望等を踏まえた上で考えていく。

問 第2点目に、どのような手法でどこから着手するのか尋ねる。

答 地域の人々と協議し、着手する順についてはしっかりと、協議の上で定めていく。

問 第3点目に、平成28年度当初予算の中には予算化されていない。補正予算で対応する考えはあるのか尋ねる。

答 関係機関等、地域と協議について、早急に着手しなければ次のことに向かって行かないので、必要とあらば基本計画等の予算をとっていくということは、柔軟に考えていきたいと思っている。



熊山駅

表紙のひとこと

アユの放流祭 吉井川河川公園

去年5月に行われた鮎の放流祭の写真です。周匝にある吉井川河川公園で吉井川南部漁業協同組合が主催し、稚アユの放流が行われました。放流には吉井地域の保育園児が参加し、バケツに入った体長10cm程のアユ約2万匹を放流している様子です。

問 乳幼児医療費等の 助成対象の拡大を

答 4月より
高校生等まで拡大



松田 勲議員

わ市」という実現に、さらに飛躍を向けていく。

企業誘致の受け皿を

問 企業誘致の受け皿づくりには、新工業団地の造成を早急に進めていくべきである。具体的には進んでいるのか。

答 熊山工業団地に隣接する小瀬木地内を、企業誘致の候補地として整備する。約3haの規模で、平成29年度に用地造成への着手を予定。

ふるさと納税について

問 新たな財源確保に、専門の課を設置してでも、もっと本格的に取り組んでいくべきではないか。

答 民間専用サイトの利用は、昨年4月から行い、インターネット上で申し込みと支払いまでできる



映画のロケ風景

制度を導入した。より多くの地元特産品、加工品などを返礼品に加えるため、商工会とも連携を図り、映画企業の募集を現在行っている。

映画「種まく旅人 夢のつぎ木」について

問 この秋の全国ロードショーへ向け、市の全国アピールに乗り出していく千載一遇のチャンス。市として、できることを全てやっていくべきでは。

答 ロケ地マップの配布、ロケ地めぐりツアーの開催、オールあかいわ宣伝隊との連携などを予定している。また、地元での先行上映会、パネル展の開催なども計画している。

問 決算委員会で一般会計が不認定 になったのは事実でないのか

答 事実ですし、
結果を重く受け止めている



原田素代議員

問 決算委員会で市長は「守秘義務」を理由に個々の支出の適正運営を誠実に回答していない。

答 丁寧さが足りなかったと反省している。

民主主義を語ることは政治活動で利害が生じるのか

問 「民主主義ってなんだ」というシンポジウムの後援申請を、市と教育委員会は「特定の政党その他の政治団体の利害に関する事項を目的としたもの」に該当することを理由に申請を不許可とした。

最近の安

倍政権のメディアバッシングは目に余る。報道キャスター達の降板、報道の

対応する。



シンポジウム

規制等。

これにより国民の主張が萎縮し、まさに「民主主義」の危機を迎えている。憲法99条「公務員は憲法を尊重し、擁護する義務を負う」を真摯に履行すべきである。

答 市の中立性を堅守する判断である。

税金で個人の資格を取得させる事業は見直すべき

問 平成24年度から市費630万円が防災士講習費用として110人が修了している。しかし各地域の自主防災組織は未だ10力所。

答 公費で講習費を負担するのは問題が多い。できるだけ早く自主防災組織を立ち上げたい。

問 業務改善運動の導入を

答 新年度から業務改善提案を簡便なものにする



澤 健 議員

問 第6期介護保険計画のとおり、吉井地域の小規模多機能も熊山地域と同様に平成29年度に必ず作らなければならないのではないか。

答 吉井地域と熊山地域でニーズに違いはない。吉井地域にも熊山地域と同様に小規模多機能を整備していきたい。

未収金の徴収体制の検討プロジェクトチーム

問 未収金については、18種類の未収金を本市の12課で徴収している。同じ人に別の課が徴収に行っているものもその情報も他課では十分わからないというところが起きている。また、多くの市町村では、強制的に徴収できるものをまとめて一つの課で

行うところも多い。ついには、マイナンバーも導入されるので未収金の徴収体制の検討プロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答 先進地の取組事例を参考に関係各課を集め、全市的な徴収体制の検討を行う。

桜が丘東浄化センターの汚泥流出防止について

問 汚泥流出の原因となる古い地中埋設管はないのか。

答 最終沈澱池から浄化槽につながる地中埋設管は鉄管になっている。再度問題ないか診断する。



小規模多機能居宅介護

問 財政悪化の中、市役所職員の給与を上げるのか

答 給与を上げる



佐々木雄司 議員

げたいと思っている。

問 市長の進める財政健全化アクションプラン、いわゆる本市における行政改革であるが、このなかで多くの項目について市民負担を求めている。理由は財源が厳しく予算がないからであるが、そういう財政状況の中、職員の給与を上げるのか。

答 職員意識の高揚、やる気の醸成、そういった意味から国の人事院勧告に基づいて職員給与を上げるのか。



市役所内の風景

問 小中学校において厳しい家庭環境のため、前向きになれず学校が強く推進する青少年健全育成に、ついてこれない児童生徒が出るのではないかと心配している。児童生徒に対し各種サポートがあるのは承知しているが、真に必要なのは家庭環境の改善ではないか。前向きになれる、そんな姿勢を全ての児童生徒に持ってもらうためにも家庭支援という新たな取り組みが必要ではないか。

答 前向きな提案に感謝する。取り残される児童生徒を作らないためにも、積極的に提案を活かしていきたい。

問 ふるさと納税等 積極的に推進を

答 返礼品を拡充し農業や地元産業の育成を図る



北川勝義議員

使い方への啓発に取り組み、桜が丘中学校区では小中連携推進教諭を配置し研究を進めている。

問 農産加工の促進および農産物等の販路拡大を。
答 強い農業の確立を促進するため、地域ブランド化、6次産業化等を重点施策と定め、生産者、生産組織、後継者の皆さんと協議を進めている。

問 公共交通の充実に。
答 地域の意見を聞きながら、地域公共交通のあり方について検討していく。また、市民バス等の安全面の確保について、車両の保守管理、計画的な更新に努める。

問 公共施設の建設および

問 市制施行10周年記念事業の成果説明を。
答 市を全国にPRする「オールあかいわ宣伝隊」事業では、特産の桃やぶどう、お酒やワインなど、東京や大阪、香港などで紹介し手応えを感じている。

問 小中一貫教育の取り組み状況について。
答 高陽中学校区では、児童会と生徒会の連携による人権問題やスマホの

使用料金の統一について。答 斎場建設については慎重に検討すべきと考えている。料金統一については、市民の公平性の観点からも必要性を認識しており、検討する。

問 ふるさと納税を積極的に推進してはどうか。
答 魅力あるふるさと納税施策として、返礼品拡充の呼びかけ、農業、地元産業の育成・活性化を図りたい。

問 移住・定住の促進を。
答 「総合的な移住・定住相談窓口」の整備や「おためし住宅」を設置し促進していく。

問 平成25年住宅、土地統計調査全国編および都道府県編が平成27年2月に総務省統計局から公表された。本市の空き家数は2480戸で空き家率は13・3%で県内18市の内低い方から3番目となっている。この空き家を活用することが全国自治体の重要な課題となっている。この空き家を利用してイターンUターンなどの人材誘致、また地域活性化施策としてなど



ふるさと納税返礼品

問 人材誘致推進に 空き家改修助成制度の創設を

答 移住・定住者の支援策として 実施を検討



実盛祥五議員

さまざまな努力をしている。本市も空き家をイターンUターンなどの人材誘致の受け皿として空き家の改修の助成制度をつくり、人材誘致の武器として活用し推進してもらいたい。また新規就農者等の受け入れの支援策としても活用し、市の魅力を引き出し、市を全国にPRしてもらいたい。

問 市外からの転入者に空き家に住んでもらうことは空き家を減らす有効な手段。本年度から取り組んでいる「あかいわに帰ろうプロジェクト事業」や新年度に取り組む「シティプロモーション事業」、「移住コンシェルジュ(仮称)」がある。またこの役割を担う地域おこし協力隊の

設置などにより市の魅力を積極的に発信し、市への人の流れをつくっていきたく考えている。また移住・定住者への支援策として、空き家改修に対する助成制度の創設、おためし住宅の整備の実施を検討している。

問 県道岡山赤穂線の熊山小瀬木地区に歩道を設置してもらいたい。当地区には子どもが多く危険個所が多数ある。現地を確認し、強く県に要望してもらいたい。
答 交通の安全、安心確保のためには早急な改良が必要。道路管理者である県に強く要望する。

問 小瀬木地区の道路



小瀬木地区の道路

問 視点を変えたらどうか。 映画のPR戦略

答 市民参加で全国にPR



保田 守 議員

とになる。市としても、この映画を活用して、議員がご提案のような、有効な形につながっていくように強く思っている。今後とも協力をお願いする。

山陽地域で行った懇談会について

問 市長が11月から12月に行った懇談会でいろいろな意見が出たがどのようなに反映させるのか。すぐに解決できるもの、時間がかるもの、市がやるべきもの、住民の力を借りるものなど、住民によくわかる回答書を出してほしい。

問 私は一般的宣伝よりも今の赤磐市の弱点をプラスに変えるような戦略が必要と考える。その戦略として、百条委員会では話題になった映画である。とか、赤磐市とは『セキばん市』ではありません『あかいわ市』です。とか、他の市にない特徴を生かす逆転の発想があるのではないか。

答 今回もらった意見については、すぐに実施できるものから順次実施していく。ある程度時間をかけないと解決しないものなどは関係機関と協議を進め住民の皆さんに回答を返したい。

第2次赤磐市総合計画について

問 本市が今後発展していくには、高速のインター周辺のエリアの開発が必要である。市役所・警察署・新時代の道の駅・バスターミナルなど赤磐市の核になるような施設が必要である。

答 夢のある提案をもらった。私もこの赤磐市を支える拠点作りを目指していく。



山陽インター周辺エリア

問 吉井中学校プールの今後について問う

答 総務文教常任委員会で詳しく説明する



下山哲司 議員

きたい。
過疎地域自立促進市町村計画について

問 事業目的を聞く。

答 人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能および生活環境の整備等が他の地域と比較して低位にある地域の自立促進を図り、住民福祉の向上、雇用の拡大、地域格差の是正および美しく風格の

問 1年、2年、3年もプールの授業をすればいいのでは。

答 今の吉井中学校のあの規模の職員体制でこれ以上負担をかけたくない。

問 本市合併後10年間使ってなかったプールを使うのであればそれだけの説明をしなかったら今までの10年を否定したことになるのでは。

答 子どもたちのために学校プールを改築してい

赤磐市過疎地域自立促進市町村計画

(平成28年度～平成32年度)

岡山県赤磐市

赤磐過疎地域自立促進市町村計画

問 山陽団地の活性化の将来の見通しは

答 総合計画の中で山陽団地の活性化を目指す



福木京子議員

集まるまち創りを進める中で、この山陽団地の活性化を目指していく。

桜が丘の中央交差点の周辺の安全対策を

問 住民の要望が実現されよかった反面、大きな交差点になった。高齢者の人々の買い物、通学路でもある。交通量も多く細心の安全策をすべきだ。

答 今回右折レーンを設置し、直進車が安全に走行できるようになった。4コーナーにボストコーンを設置。夜間にライトが当たると光るロードマーカーを配置し、運転者の視線誘導を行う安全施設がある。現場も検証し住民の声も県に伝える。

問 3年前有志の人々が、早く山陽団地の活性化策に取り掛かってほしい旨要望されている。2300世帯の大きな団地である。中心地をどうするのか、買い物ができるのか、若い物に来てほしいなど共通の思いを持っている。

答 旧山陽ショッピングは民間の所有なので非常に難しい。総合計画に定めているように、経済・産業に活力があり、人が

太陽光パネル設置は

問 高倉山に大きな太陽光パネルの設置がされると聞くが、景観や防災面は大丈夫なのか。

答 高倉山では、民間業者による設置計画がある。約2・5haに、約2メガワットの計画。全国的には景観上で規制条例の制定もある。防災面に対しては特別にない。

市職員の雇用問題は

問 赤坂の3保育園が来年1つになるが、保育士の雇用はどうなるのか。正職員を増やすべきだ。

答 臨時保育士も現状程度の人員が必要。処遇改善を予定している。



新しい桜が丘中央交差点

問 空き家対策計画の策定や協議会の設置は

答 策定、設置に向けて検討する



治徳義明議員

みが必要では。

答 ①策定、設置に向けて検討する。②慎重に検討する。③積極的な活用を行う。

問 かつてニュータウンと呼ばれた地域の発展を支え続けた山陽団地も40数年が経過して多くの課題が山積している。そのような中、市長は「山陽団地の活性化」をテーマとした町内会別懇談会（7会場）を開催した。①多様な意見、提案等をどのように反映していくのか。②中心部の再開発は。③検討委員会の設置は。④県営住宅の再開発は。⑤公共擁壁の安全対策は。⑥岩田大池周辺の安全対策は。

答 ①山陽団地特有の課題解決に当たっていく。②山陽地域全体で考える。③早期に方針を出す。

④県と協議をする場をつくっていく。⑤次年度に公共擁壁を調査する。⑥危険な個所の安全措置を行う。

問 ひきこもりの社会復帰等の取り組みをより充実させるために、居場所づくり支援やサポーター制度を導入すべきでは。

答 必要となときに事業の活用を検討する。

問 観光振興の取り組みは、地域活性化の有力手段である。テーマ性、ストーリー性を持った観光資源の掘り起こし、観光大使制度の導入、外国人観光客の誘致、宿泊施設の誘致等々、積極的な取り組みが必要では。

答 モニターツアーを行い魅力発信の方向性を研究する。



岩田大池

問 河本・岩田地域の商

市長は本気で取り組む姿勢があるのか

答 地産地消の推進、道の駅等直売所の構築など、生産体制を支援し、付加価値の高い流通の確保を目指す。

問 小規模農家に夢が持てる施策が見当たらない。赤磐市独自の農業政策を打ち出す必要があるのではないか。

問

小規模農家に夢を授けるべきでは

答

地産地消など生産体制を支援



佐藤武文議員

めたのか。

問 最終処分地の建設が全く進んでいない。本年度予算はどのような思いでまとめたのか。

答 本年度予算編成は市民の負託に応えているか

問 何回も指摘しているが、答弁通りの実行がみられない。市民の生活設計に説明責任は不可欠ではないか。

答 説明責任を果たすのは極めて重要で、早急に詰めて実施したい。

問 どうにかならぬ下水道事業

答 業、物流ゾーンの開発を本気でする気があるのか。全力を挙げて取り組んでいきたいと強く思っている。



下水道工事

答 子ども医療助成を高校生まで拡大など、活力あるまちづくりを力強く目指した予算である。

問 学力向上の努力は伺えるが、結果が表れていないではないか。

答 児童・生徒のやる気に火をつけ、学力の向上を行っている。

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一覧に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。

第3回議会報告会を

開催しました

皆さまからいただいた
主なご意見（抜粋）

◎吉井支所（参加者20人）



平成24年12月に制定された赤磐市議会基本条例に基づき、3回目の議会報告会を3月に市内5カ所で開催しました。

報告会には合わせて78人のご参加をいただき、日頃の議会活動の状況を知っていただくとともに、さまざまなお意見やご提言をいただくこともできました。

いただいたご意見等は今後の議会活動の参考とさせていただきます。また、まとめたものをアンケート結果とともにホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ご出席いただいた市民の皆さまには、大変ありがとうございました。

- ・赤磐市のバス運行について、林野く穂崎間のバス料金は、宇野バスとの関係で高いのは理解しているが、周匝く和気間のバス料金は安くすることができるとは。吉井中学校のプール改修について要望書を提出している。

出している。改修できるように尽力してほしい。

- ・周匝く和気間のバスは周匝のどこから出ているのか。バス停の場所。バス停まで出るのに苦労している。周匝から伸ばすことはできないのか。
- ・百条委員会は廃止となったが、今後報告は。
- ・岡山県で赤磐市の学力は最低だが、教育委員会は機能していないのでは。
- ・あかまつ荘の改修はどのようにするのか。
- ・備作高校の跡地の利用はどうなっているのか。
- ・有害鳥獣被害対策について、共同で行ってきただが耕作放棄で一人となってしまう場合、補助率が低くなってしまう、何らかの手立てはないか。和気町の防護柵とは雲泥の差がある。

検討してもらいたい。

◎赤坂健康管理センター（参加者9人）



- ・高等学校の学区の撤廃について「この問題は過去より3原則があり、（学区制、男女共学、総合性）その影響をどう考えるのか」という経験者よりの質問があった。
- ・空き家が増えているが、対処しているのか。空き家の再活用による状況はどうか。
- ・学校建物跡など公共施設の維持管理活用（FIM問題）について、適切な対処を望みます。

- ・（旧）熊山病院跡地の利用に、PFIはよい制度だと思いがPFIを使わないのはなぜだ。

- ・関連質問でPFI、VFMの意味は何か。
- ・有害鳥獣対策について具体的な説明を望む。
- ・農業振興の就農支援事業は、45歳以下なのはなぜか。赤磐市独自の支援対策を望む。
- ・山陽総合流通センターの（株）グリーングローウの説明を。
- ・字の区域の廃止の理由の説明を求める。
- ・映画製作の事業は、赤磐市の名を上げる良いことだと思うので議会も協力すべきである。
- ・市議会で、採決の結果10対6で百条委員会が設置された。18日の終わり方は問題である。議論を避けているのではないか、良くないと思う。

◎桜が丘いきいき交流センター（参加者28人）

- ・百条委員会について疑



念があつたのなら、終わるのは尻すばみの感があるが、これで終わるのは、おかしいのでは。

- ・百条委員会廃止の動議に誰が賛成し、反対した議員は誰か。
- ・議会提出の百条委員会設置理由がホームページに載っているが内容がおかしい。
- ・11月26日の百条委員会の欠席者は誰か。その欠席理由は。欠席者があつたにも関わらず会議録には欠席になつていないがどうしたことか。
- ・委員会で終了動議が出たのに、委員長が終了の決議をとらなかったのはおかしいのではな

いか。

- ・百条委員会を立ち上げ、このような形で終わり、赤磐市の経済的損失について、どう思っているのか。
- ・産業振興、観光振興が全然進んでいないができないのか。観光地として備前国分寺跡地があるが観光バスが入らない。道の駅はできないのか。
- ・赤磐市の人口の3分の1が桜が丘に住んでいる。移住者がこれだけ多いのも珍しい。議員の方も恥じない行動をとってもらいたい。今の議会では移住者もこない。
- ・備前国分寺のPRが不足している。市民ホールがない。インターチェンジの名前を赤磐にするべき。
- ・吉井中学校のプールの改修工事を新聞で知り本当に腹立たしく思った。生徒の為に平等に整備をしてもらいたい。
- ・市議会の本会議で政策論争を行うのならいいが、裏話などを本会議



です。そのような議会はおかしい。議会の改善を要求する。

- ・学力の充実・向上、吉井中学プールは作るべき。公立高校を誘致すべき。

◎くまやまふれあいセンター(参加者9人)

- ・市議会は、百条委員会をなぜ頻繁にやるのか。
- ・区長の手当てを下げるとはどういう事か、説明を求め。
- ・病院の跡地利用についてのPFIの案はなぜ否決され、施設の設置が遅れるのではないのか。その後の跡地の活用方法と検討の状況を

説明をしてほしい。地元の要望は伝えているので、それを踏まえて議会も協力しての計画の推進をお願いをしたい。

- ・介護法の変更について地域密着とのことだが、例えば、特養の施設を増やす方法は取れないのか。

- ・発行したプレミアム付き商品券のその後の経済効果は。検討検証しているか、どのような効果があつたのかなかったのか説明してほしい。
- ・映画事業について、計画の初めから、あるいは、普段から、親しく執行部と議会は話せないのか。反対している理由を聞きたい。
- ・議員が農協の理事に就任していることに反対する。
- ・英国庭園事業は、人が来れば来るほど赤字になると思う。現状を理解しているのか。

◎中央公民館参加者10人

- ・マイナンバーの届けを



している人数はどれくらいか。

- ・シティープロモーション事業は200万円のできるのか。
- ・合併して市の花や木はできたが、明るい関係もほしいので市の歌など作ってはどうか。
- ・18歳選挙権も実施されるので、若い人に関心を持つてもらえるアイデアを出してほしい。たとえば、ミス赤磐とか、桃娘とか。
- ・介護保険が改正され、平成29年から介護要支援1、2が保険からはずされるが、受け皿はできているのか。計画はどんなになっているのか。

「映画製作に係る製作協力に関する調査特別委員会」に関する議長総括

主題委員会につきましては、赤磐市民はもとより多くの関係の皆様にも多大なご心配・ご苦労をおかけいたしました事を、ここに深くお詫び申し上げます。

「映画製作に係る製作協力に関する調査特別委員会」の設置から終結に至るまでの時系列経緯については、先に中間報告や特別委員会の廃止を求める決議に示されている通りです。

ここに、その調査特別委員会から導き出された事について、赤磐市議会議長としての総括をいたします。

まず、地方自治法に定められた法第100条により、この委員会は議会多数決をもって設置されました。法第100条とは、大変強い権限を持った条項であり通常の調査では真相が究明されないような場合に、多くは用いられています。

平成27年9月議会では、赤磐市制施行10周年記念映画製作に係る5つの疑念について、調査するため調査特別委員会が設置され、その経緯は、調査特別委員会委員長名でホームページに内容が掲載されました。

委員会は、すでに中間報告や特別委員会の廃止を求める決議に記載されているような経過で、平成28年3月14日まで開催されました。

平成28年3月18日、本会議最終日に委員会での調査はほぼ終わり、これ以上調査を続けることは無用の混乱を招くことにもなりかねないとして、調査特別委員会の廃止を求める決議が提出され、賛成多数で可決されました。これらの一連の流れから、問題であろうとされた5つの項目については、説明及び回答がなされ、大きな問題とならないことが読み取れ、問題はなかったと結論付けます。

市制施行10周年を記念し製作された映画を足掛かりに、赤磐市をPRできることを多くの市民は期待しております。映画製作には多くの市民ボランティアも参加し、映画の封切りを待ち望んでいます。今回の調査特別委員会の設置により、赤磐市へのマイナスイメージが付いた事は事実です。

結論としては、問題はなかったという事になります。反省が必要だと考えています。本来、我々市議会と市執行部は車の両輪として例えられるよ

うに、双方が機能し支えあわなければ正常な行政運営はできず、結果的に赤磐市民のためになりません。

市議会並びに市執行部は今回のことを振り返り、赤磐市民のために働かなければ自身の存在意味が無い事を重々肝に銘じ、市政の発展に最善を尽くすことが、市民の負託にこたえ信頼回復への道だと考えます。

最後に、映画「種まく旅人〜夢のつぎ木〜」が早く公開され、多くの皆さんに見ていただき、その中で赤磐市の魅力が存分に伝わり、「赤磐の桃を食べよう」「特産品を味わってみよう」「赤磐に行ってみよう」「住んでみよう」と思われるようになることを切に願ひ、総括いたします。

平成28年3月30日

岡山県赤磐市議会

議長 金谷 文則

6月定例会のお知らせ

次回6月定例会は、6月3日から6月28日まで26日間の会期で開催予定です。詳細な日程については5月下旬に決定し、ホームページに掲載しますのでご覧ください。
多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

編集後記

春。卒業と入学の季節。各職場では人事異動の季節でもあります。

わが赤磐市議会も事務局長がこの3月で定年退職を迎えられることとなりました。談論風発、個性豊かな議員の中であって外からは推し量ることのできないご苦労もあつたことと想像します。

局長に就任してから足かけ4年間、議員への温かいおもいやり、叱咤激励に感謝するとともに今後のご活躍を心から応援したいと思っています。

私たち広報委員も折り返し点を迎え、局長の折々のアドバイスを記憶の襞（ひだ）からよみがえらせて残る一年を精進したいと思っています。

議会広報編集特別委員

- 委員長 澤 健
- 副委員長 光成 良充
- 委員 岡崎 達義
- 委員 北川 勝義
- 委員 原田 素代
- 委員 丸山 明
- 委員 保田 守